

## 親子の絆深めた愛情レシピ

8月6日に児童センター主催の「親子料理教室」が町内3か所の保健センターで行われました。参加した48人の親子（赤池6組、方城7組、金田6組）は、食進会の指導を受けながら、ツナの焼きコロッケ、コンソメスープ、かぼちゃプリンなど5品のメニューを調理。「食」への関心が大きく膨らみ、自分で作る楽しさや達成感を得た一日になったようでした。



↑ 食進会や保護者に教わりながら調理。自分たちが手がけた料理の味は格別です。

↓ 研修最終日に訪れた「地獄めぐり」で源泉が自然に湧き出る仕組みを学ぶ様子。



## 大分の海原で一回り成長した子どもたち

町民会議主催の「夏季少年のバス」が7月22日から2泊3日の日程で行われました。参加した町内の小中学生45人は、研修地の大分県マリンカルチャーセンターでスキューバダイビングやカヌーなど、仲間と交流を深めながら、故郷にはない海での貴重な体験を満喫。輝く太陽のもとで多くの発見に胸を弾ませ、こんがり焼けた肌に夏の思い出を刻んだようです。

## ベアーズの球児が県大会で奮闘

赤池ジュニアベアーズが持ち前の機動力と堅実な守りを生かし、立て続けに県大会で好成績を収めました。7月18日に行われた「スポーツ少年団軟式野球交流」の県大会で3位に輝き、8月25日に行われた「福岡県学童（低学年）軟式野球大会」でもベスト8。筑豊代表として胸を張り、チームや指導者、保護者などが一丸となって戦ったことが好成績に結びついたようです。



↑ ベアーズでは、随時部員を募集中です。お気軽にグラウンドにお越しください。

↓ 金田新町通り商店街で啓発チラシなどを手渡しで配布する保護司会のメンバー。



## 地域の見守りで犯罪や非行を防止

犯罪や非行を防止し、犯罪者の更生を支援する保護司や町職員約30人が7月21日に「社会を明るくする運動」を呼びかけました。この運動は安全で安心な社会実現を目指す全国的な取り組みで、今回で61回目を迎えます。保護司会福智支部長の白石宏事さん（弁城）は「今後もこの活動を推進して地域から犯罪をなくしたい」と話し、住民に理解と協力を訴えました。

↓ 中嶋さんのパワフルな講演を聴いた参加者約80人は、今後の行動に意欲を燃やしているようでした。



## 老若男女が地域活性化のカギ

農業従事者でありながら町議会議員選挙で2期連続トップ当選を果たし、九州初の女性町長を務めた中嶋玲子さんを講師に招き、8月2日に金田分館で講演会が開催されました。中嶋さんは地域づくりをテーマに、固定的役割分担意識が強い農家の嫁から町長になった話や、21世紀の最重要課題は「男女共同参画社会の実現である」ことを提唱。地域や行政の意思決定の場には男性が多いことを例に挙げ「地域が活性化するには、世代を超え、性別を超えて老若男女が共同参画すること」と熱弁をふるいました。

## 福岡県立大学が福智町役場で社会調査実習

福岡県立大学で「男女共同参画社会」を研究している学生13人が、役場内での男女共同参画に対する現状と課題を調査するため、8月9日に福智町を訪れました。20～50代の各年代3人ずつに「男女で仕事内容が違いますか」など約2時間におよぶ意識調査を実施。若い世代の奮闘で、男女が多様な分野で能力を存分に発揮できる社会の実現を目指しています。



↑ パソコンなどを用いて分析を行う県立大生。後日、報告書が提出される予定です。

↓ 筑豊大会で女子は優勝、男子は3位となり、県大会出場の切符をつかみました。



## 町長に県大会での健闘を誓う

県大会出場を決めた方城中男女バスケットボール部が7月21日に町長を表敬訪問し、健闘を誓いました。町長が「県大会で日ごろの練習の成果を発揮してほしい」と激励すると、両キャプテンが「優勝を目指して頑張ります」と決意を表明。7月30日に行われた県大会では、両チームとも1回戦で惜しくも敗退しましたが、最後まで諦めない全力プレーを貫きました。